

薬用植物園かわらばん

いま、こんな草木も楽しめますよ！
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2023年
3月30日
第148号



ミツガシワ (ミツガシワ科)

ひょうたん池の中で、白い花が咲いています。北海道、本州、九州の山地の水深の浅い池沼や湿地に生育する多年草です。植物名の由来は、カシワの葉に似た3枚の複葉を持つことからという説や、柏の葉を描いた家紋「三柏」に似ているから、等の説がありますが、何より学名の *Menyanthes trifoliata* の種小名が、3枚の葉を持つこと意味していますしね。何でも氷河期の残存種とか。葉または全草が、スイサイ（睡菜）という生薬となり、中医学では健脾消食、養心安神、清熱を目的に、消化不良、不眠、黄疸などに使用されます。日本の民間薬としては、葉を苦味健胃薬として使っていました。実際に苦味配糖体としてゲンチアニンなどを含みます。ミツガシワ科は、もともとはリンドウ科から分かれたもので、リンドウ科と言えば苦味で有名なセンブリが属しています。

ブルーベリー (ツツジ科)

園内東側のフェンス沿いに、ドウダンツツジに似た釣り鐘状の白い花が咲いています。この後、青紫色の小さな果実が実ります。原産地はアメリカ大陸で、日本へは1951年に導入されました。ブルーベリーは植物の種名ではなく、スノキ属シアノカス節に分類される果樹の総称で、多くの品種を含んだ名称です。当園で植えているブルーベリーの北側には、同属植物のセイヨウスノキ（ビルベリー）もあります。ブルーベリーの果実は、生食の他、ジャムや果実酒の材料として利用されます。俗に目によいとされる健康食品の材料としても利用されていますが、臨床試験が行われているのはビルベリーの果実のほうで、眼精疲労を軽減するとした臨床試験の結果があります。